

●受難節第三主日

泉のほとり

今月の詩編「第一三〇編」

イスラエルよ、主よ待ち望め。

慈しみは主のもとに

豊かな贖いも主のもとに。

主は、イスラエルを

すべての罪から贖ってください。



イエス・キリストの証人

使徒言行録はルカによる福音書の続編です。ルカによる福音書では、初めにその目的が明記されます。テオフィロという人が、教会で教えられていることが確実なものだということを知るためということですが、テオフィロはローマの高官だったと考えられています。テオフィロの名前は「神に愛されている者」という意味で、わたしたちすべてが含まれます。このふたつの文書は、わたしたちのために書かれています。

ルカによる福音書では、主イエスの誕生の出来事から、十字架で殺された主が復活され、天に帰られるところまでが書かれています。使徒言行録では、聖霊が降って来られて、地上に教会が誕生し、伝道の働きが始まって、最後は伝道者パウロがローマへ行くところまでが内容です。つまり、神さまがわたしたちを罪の支配から救い出すために起こされた出来事のすべてです。その中心は主イエスの死と復活です。

子ども礼拝の讃美歌で「命の終わりが命の始まり」と歌います。初めてこれを歌ったとき、ちよつと感動しました。命の終わりが見えてきている者には、本当に大きな慰めです。そう歌えるようになったのだなあと思います。そのために主イエスの十字架の死と復活の出来事があつたのです。

鎌倉雪ノ下教会の川崎公平牧師が書かれた「使徒言行録を読もう」の中に「神はキリストを生かし続けることによつてではなく、教会の存在を用いることによつて、御自身の働きを継続しようと決心された」と書いてあります。目が覚めるような言葉です。教会には使

命があることが明確に示されています。わたしたちは主イエスの再臨を信じて待ち望んでいるのですが、何もせずに待つているわけではありません。使命を果たしつつ待つのです。品川の地に、神の民がたくさんいます。自分でもそれに気づかずにいる人が多いです。それらの人に主イエスの救いを宣べ伝えて、救われた者の群れに加えなければなりません。

品川教会はこれまで実に様々な伝道の方法を考えてきました。公会堂に著名な講師を招いて大きな集会をしたり、風呂屋の脱衣場を借りて集会をしたり、音楽教室や英会話の教室、地域の青年のための集いを開いて人々を教会に招いたり、結婚式やクリスマスをよい機会としてきました。そのようにして使命を果たしてきたのです。

礼拝自体もまた神の業です。神さまは日曜日ごとにわたしたちを呼び集め、罪の告白をさせ、御言葉を聞かせ、聖餐で養って送り出してくださいます。それを毎週繰り返すのです。その中で牧師に命じて御言葉を語らせます。週に一度、御言葉を聞くことが、信者には必要だからです。神さまがお考えになったこの繰り返しの中で、わたしたちは成長するのです。

教会で聖書の説き明かがされると、心が燃えて力を受けます。このわたしのために、神さまがどれだけ大きなことをしてくださったかが分かります。わたしたちは派遣されたところでこの体験を証言します。主イエスが生きておられるから、あなたも生きることができると語ります。代々の教会はそのようにして主を証言しました。わたしたちもその後を継ぐのです。

(使徒一・一一 吉村和雄名誉牧師)

二〇二五年度 役員会組織

新年度役員会は二〇日に行われた組織会にて、二〇二五年度の役員会組織を左記のように定め、承認しました。

●運営委員会

書記 山名弘史
副書記 山下純一
財務 楠浩介
副財務 山名隆史

●礼拝伝道委員会

石川 一
井手 英利史
大友 初枝
神山 宜紀
館山 智紀

●教育奉仕委員会

上原 利之
川越 啓子
高知尾 有里
三原 穂積
三澤 えり子

《今日のお知らせ》

○本日の礼拝後は、全体での集会はありません。

○委員選挙は、各カテゴリーの方針に従ってご参加ください。

○受難節を過ごしています。この一年、受けた恵みを原稿用紙二枚（八〇〇字）以内でお書きいただき、ご提出ください。メールでの提出も受け付けます。アドレスは「tent@gloria-chapel.com」です。

《コイノニアキャンプについて》

・日時：七月二六日(土)から三〇日(水)

・場所：台湾・高雄新興教会

・参加費：一人七万円（高校生以上の学生、二〇代の教会員には補助があります。）

・申込期間：四月二〇日(日)まで
お申し込み書は事務所にあります。

《献金のお願い》

コイノニアキャンプのための献金にご協力をお願いいたします。

献金袋は事務所窓口横にご用意しておりますので、ご利用ください。皆さまのお祈りと献金を通して、コイノニアキャンプをお支えください。

《ルツの会より》

次週三〇日の礼拝後、ルツの会をカナルームで行います。出エジプト一七章から学びます。聖書、讃美歌をご持参の上、ご参加ください。

《交読詩篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇一三〇篇】

都に上る歌。

深い淵の底から、主よ、あなたを呼びます。

主よ、この声を聞き取ってください。

嘆き祈るわたしの声に

耳を傾けてください。

主よ、あなたが罪をすべて心に留められるなら

主よ、誰が耐ええましよう。

しかし、赦しはあなたのもとにあり

人はあなたを畏れ敬うのです。

わたしは主に望みをおき

わたしの魂は望みをおき

御言葉を待ち望みます。

わたしの魂は主を待ち望みます。

見張りが朝を待つにもまして

見張りが朝を待つにもまして。

イスラエルよ、主を待ち望め。

慈しみは主のもとに

豊かな贖いも主のもとに。

〔司・会〕

主は、イスラエルを

すべての罪から贖ってください。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「ダビデを助けた人」

聖書 サムエル記上20章35〜42節

説教者 吉村和雄名誉牧師

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「裁きの神に委ねる」

聖書 サムエル記上24章1〜8節

説教者 宮間彰広 兄

●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 142番 335番

説教 「自分の命を愛する者はそれを失う」

聖書 ヨハネ12章12〜26節

説教者 黄允湜 牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 138番 153番
説教 「釘跡に、脇腹に手を入れなさい」
聖書 ヨハネ20章19～31節(新約 P.210)
司式 石川 一兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「イエス、キリスト我らの救い主」 J.S.バッハ

○讃美歌138番

1. ああ主は誰がため 世にくだりて
かくまでなやみを うけたまえる
2. わがため十字架に なやみたもう
こよなきみめぐみ はかりがたし
3. とがなき神の子 とがを負えば
てる日もかくれて やみとなりぬ
4. 十字架のみもとに ころせまり
なみだにむせびて だひれふす
5. なみだもめぐみに むくいがたし
この身をささぐる ほかはあらじ

アーメン

○讃美歌153番

1. わがたまよ、きけ この知らせを
主はいま死より よみがえりて
勝利の旗 たかくかかげ
われをために まねきたもう
2. わがたまよ、知れ このめぐみを
主はわがつみを ゆるしたまい
いさおしなき この身なれど
つきぬさちを あたえたもう
3. わがたま、つづけ 主のみあとに
主の愛われを とらえたれば
世のひとみな さからうとも
われになにの おそれかあらん
4. わがたま、ほめよ このみいつを
主はよろずをば ひとつとなし
かみのくにを つがせたもう
ハレルヤ 主は よみがえりぬ

アーメン

聖餐曲「愛のゆえに救い主は」(マタイ受難曲より)
J.S.バッハ

後奏曲「いさみて仰げ、救いは近し」 D.R.ジョンソン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。